

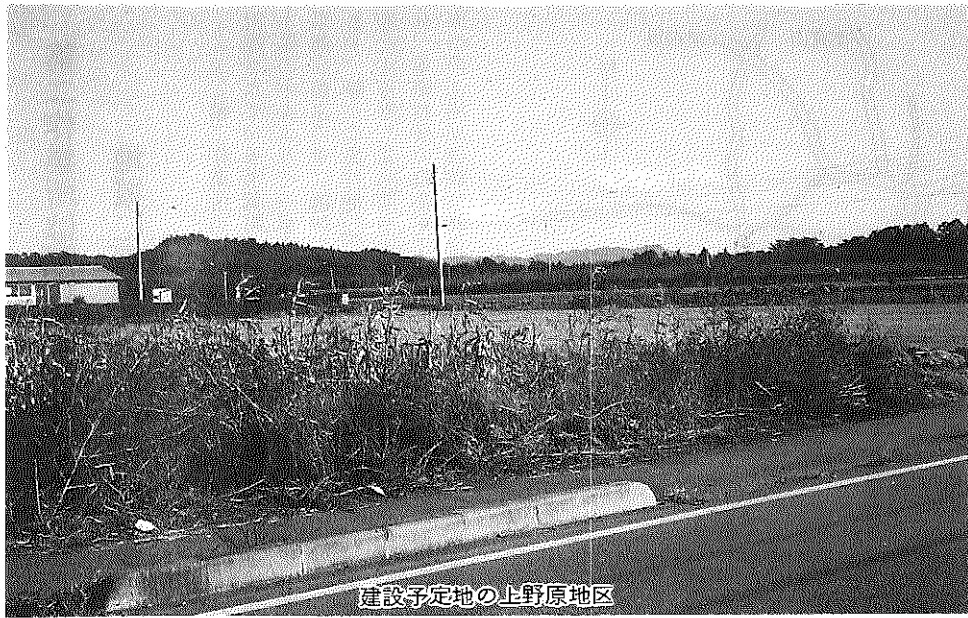
国際障害者年 1982—1991

「完全参加と平等」

こぶし

こぶし作業所後援会ニュース

編集発行
〒321 宇都宮市柳田町1401番地
こぶし作業所
☎ 0286(62) 1911
〒320 宇都宮市小幡1丁目4番29号
(藤田法律事務所内)
こぶし作業所後援会事務局
☎ 0286(25) 3266



建設予定地の上野原地区



芳賀町の中心地・祖母井



花王石製粉工場と花王石製粉工場

建設委員会発足 第一回総会開催

「こぶし第二作業所(分場)」建設を計画

十二月一日、「こぶし第二作業所」(仮称)の建設委員会が宇都宮市中央公民館で開かれました。この委員会は、昨年、法人理事会の決定に基づき結成された「入所者定員増員問題検討委員会」をさらに拡充したもので、入所者の増員をはかるため、こぶしの第二作業所の建設をめざしそのための具体的な計画を策定し、それに関連するいろいろな活動をすすめることを目標にしています。当日は、理事長から委嘱された委員29名中25名が出席し、建設委員会の発足を確認したあと、熱心に第二作業所の建設計画を審議し、今後の活動方針を決定しました。

芳賀町に建設用地を取得

後援会で建設資金を調達

こぶし第二作業所(仮称)のたび新しく制度化された分場方式(既存の核施設に通過の分場を設置するもの)を採用し、親施設と子施設が協同し効率的な運営を行なうことを考えました。

養護学校を卒業しても就職が難しく、家庭に閉じ込められているのを得ない障害者が増えていきます。この人々には家庭とともに集団の場が用意され、人間としての発達を促すことが強く求められています。こぶしの新しい作業所建設には多くの方々から大きな期待が寄せられています。

今回発足しました建設委員会には、谷博之理事(県議)ほか後援会役員が5名就任し委員会の中心として活動することになりました。

- 建設計画のあらまし
- 第二作業所の建設は、これから県と協議し県の承認を得て具体化されるものなのです。こぶし側の希望として建設委員会で決定された大よその計画内容は次の通りです。
- 施設の名称——募集中。いい名前をつけて下さい。
- 設置場所——芳賀郡芳賀町祖母井上野原(町の中心地から東南に2キロ、こぶしから東へ20キロ)
- 入所者定員——十五名を予定(状況により増減)
- 職員定数——三名
- 用地の取得方法——買取
- 敷地の面積——約三六〇坪
- 建物の構造——鉄筋コンクリート造陸屋根平家建

第2作業所建設資金調達の わらび座合奏団公演

2月24日 栃木会館大ホールで



リズムミカルな民謡や楽しいクラシックの演奏をわらび座合奏団の音楽会心はずむ音楽物語日本の民謡やおはよしの演奏は、わらび座合奏団のおとくいです。

このたび、こぶし作業所後援会が中心になり、わらび座合奏団公演実行委員会を結成し「広がれコンサート」を

らび座合奏団公演」を開催することになりました。この公演は、こぶし第二作業所建設資金の調達を目的に行われるものです。

わらび座合奏団は、昭和37年結成され、日本各地の小中高、公民館等で年間五百回を超える公演活動を行なっています。合奏団は現在15名で編成され民謡からクラシックまで幅広い演奏をしています。

ぜひご来場下さいませようご案内申し上げます。

日時 平成3年2月24日(日) 13時開場、13時半開演

場所 栃木会館大ホール

前売券 大人 二千円 小中高 千円

前売券の販売にもぜひご協力をお願いいたします。ご協力いただける方、前売券をご希望の方は、こぶし作業所まで電話でご連絡下さい。

建設工事着工 9月

建設工事竣工 5年2月

第二作業所開所 4月

自己資金の調達

以上の建設計画に基づいて今後、委員会を中心に多くの方々の協力を得て計画の実現をめざすこととなります。計画達成には建設資金を確保することが重要ですが、とりわけ自己資金の調達が大切な仕事になります。千七百万円の自己資金うち現在手持資金約八百万円を除いた額九百万円が今後調達予定額です。建設委員会では次の通りその調達計画を立てました。

○建設資金

来年度実施 二百万円

来年度から一カ年、寄付金を募る。一口一万円 五百口。

建設委員会ではこの計画の達成にこぶし作業所後援会の会員の方々の協力を呼びかけています。多くの方々のご理解をお願いする次第です。

○収益事業

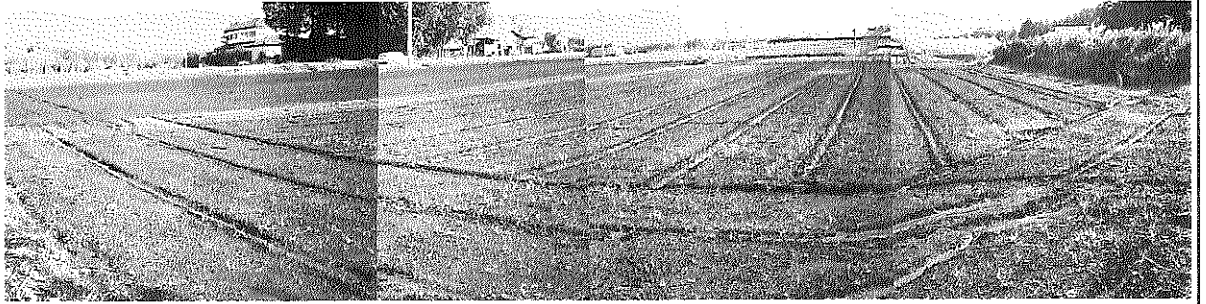
来年度実施予定のわらび座公演並びに平成四年中に実施するイベント(内容は未定) 二百万円

○チャリティバザー

本年度実施 二百万円

建設資金

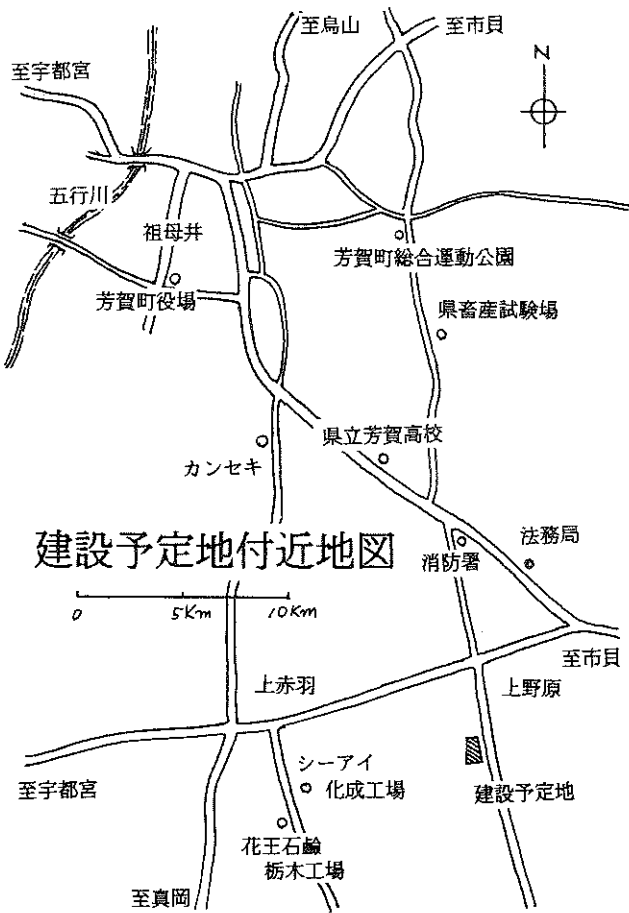
来年度から一カ年、寄付金を募る。一口一万円 五百口。



第二作業所は閑静な田園地区

地域に根ざした運営をめざす

こぶし第二作業所の建設が計画されている芳賀町は、栃木県の中央よりやや東寄りであり、県都宇都宮の東に隣接しています。静かな農村地域ですが、芳賀町の中心地である祖母井(そぼい)にはありません。最近芳賀工業団地が造成され、本田技研の自動車工場や大小の工場が誘致され急激に



建設予定地の上野地区は、ここから南東へ約二キロメートル離れた純農村地域です。附近には、農家や養鶏場、牧場が点在し、はるか南方に筑波山が望めます。南東へ千五百メートルほど行くと多々羅沼があり、松や杉の大木に囲まれて静かなたたずまいを見せています。沼の上手は湿原になっていてさざ草が自生していることで有名です。

今年も快晴だった！親子旅行

りんご狩りとアスレチックで遊ぶ

11月10日、11日、マイクロバス三台を連ね、一行58人で鬼怒川温泉一泊の親子旅行に行ってきました。

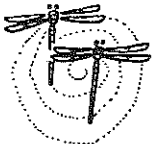
第一日は、石那田のりんご園でりんご狩り。みんなでりんご畑に入り樹からたわわに実った垂れ下がるりんごを思い思いにもぎ取りました。りんごの樹の下で昼食をとり一路鬼怒川へ。秋の行楽シーズのとあって渋滞が予想されたのですが、道路はすいていて予定に余裕ができて、途中、佐貫観音や塩原の東電PR館に立ち寄ることができました。

宿泊する「和楽荘」に到着して、親は保護会総会(11月23日予定)の福祉まつりの出店

建設予定地の上野地区は、ここから南東へ約二キロメートル離れた純農村地域です。附近には、農家や養鶏場、牧場が点在し、はるか南方に筑波山が望めます。南東へ千五百メートルほど行くと多々羅沼があり、松や杉の大木に囲まれて静かなたたずまいを見せています。沼の上手は湿原になっていてさざ草が自生していることで有名です。

上野地区から西へ二キロメートル県道を行くと、花王石鹼工場とシーアイ化成工場が並ぶ。この付近には住宅や商店が点在し、はるか南方に筑波山が望めます。南東へ千五百メートルほど行くと多々羅沼があり、松や杉の大木に囲まれて静かなたたずまいを見せています。沼の上手は湿原になっていてさざ草が自生していることで有名です。

作業所日誌



平成二年度

- 7・1 こぶし作業所スポーツ大会
- 7・6 職員の金田さん、大型自動車運転免許取得。これで職員5名が大型免許所持。
- 7・18〜21 宿泊訓練。仲間五名参加。
- 7・21 那須ファミリープールへ全員で。
- 7・30〜8・31 夏休み学級。養護学校生徒七名が参加。宇都宮大学教育学部学生十数名が順番で(一日二名)指導に当る。
- 7・31〜8・1 県立塩谷高校三年生男女生徒18名(引率の先生二名)が福祉体験学習で来所し二日間なかまと行動を共にする。
- 8・2〜5 全障研全国大会(北海道)に職員、仲間、家族計8名が参加する。
- 8・7〜9 市内豊郷中学校生徒11名(引率の先生三名)が来所し福祉体験学習。
- 8・11〜12 喜佐見キャンプ場でキャンプ。37名が参加する。二日間とも好天に恵まれるのんびりと楽しいキャンプ生活でした。
- 8・25 構内の除草を全員で行なう。
- 8・29〜9・1 宿泊訓練。仲間4名参加。
- 9・1 バザー実行委員会並びにわらび座公演実行委員会。バザーは10月14日二荒山神社において開催、わらび座公演は来年2月24日栃木会館で開催することを決定する。
- 9・9 保護者主催「親子食事会」。那須口イタルホテルで華麗なショーを見ながら食事を取り、ゲームセンターでは親子ともど
- 9・15 バザーの物品提供依頼の活動開始。
- 9・16 今年も障害者列車「ひまわり号」が宇都宮から西那須野の間を走った。西那須野からバスで箱の森パークへ。参加者は220名。秋晴れの広大な自然公園の中でゲーム等を楽しみました。こぶしから14名参加。
- 9・25 プラスチック加工の新作業導入。従来のかんびよう作業班の一部が担当する。
- 10・1 本田技研労組より10万円寄付受領。
- 10・2 秋の火災予防訓練。消防署員2名に来ていただき、通報訓練、避難訓練や実際に消火器を使っでの消火訓練を行なう。
- 10・5〜12 バザー物品値段付け。
- 10・14 第13回チャリティーバザー。
- 10・22 分場建設について県と協議(所長)。
- 10・23 日赤の採血車が来る。職員、仲間9名が献血。(申込みは14名ありました)
- 10・24 県の事務指導検査。
- 10・27 送迎用(二宮コース)ワゴン車更新。
- 10・29 冬時間に日課変更(2月下旬まで)親子旅行(鬼怒川・塩原方面)宿泊訓練。仲間三名参加。
- 11・14〜17 宿泊訓練。仲間三名参加。
- 11・14〜30 栃木養護学校小森仁志君実習。
- 11・17 栃精通「心の健康講座」に職員参加。
- 11・19〜12・3 サンシャイン社会福祉専門学校学生木村幸子さん、教育実習。
- 11・23 宇都宮市「福祉の広場」(福祉まつり)へ全員で行く。こぶしの保護者会も出店し、豆餅をつくって販売しました。
- 12・1 こぶし作業所芳賀分場建設委員会第1回総会(中央公民館)委員26名出席。
- 12・3 芳賀分場用地の売買契約が法人と土地所有者(二名)との間で締結される。

こぶし作業所を育てることに協力ください

「こぶし作業所後援会」の 入会のご案内

後援会は次の仕事をします。

こぶし作業所の運営を財政的側面から援助します。またまわりの社会と作業所をむすぶ手助けをします。

後援会にはだれでも入会できます。

作業所や後援会の趣旨を理解し、規定の会費を納められる人は、だれでも会員となることができます。

後援会の会費は年間一口千円です。

後援会の会費は、こぶし作業所の運営を援助する大切な資金となります。一人でも何口でも加入できます。

後援会の役員は総会で選ばれます。

役員は、会長一名、副会長二名、理事若干名、監事二名で構成されます。

後援会の総会は年に一度開かれます。

総会においては、役員選出の外決算、決定、事業計画、事業報告を審議し、その他の重要事項を決定します。

後援会は、年二回、ニュースを発行し会員に配布します。

後援会ニュースには、作業所やなかまの近況、会員の声などをのせて、全部の会員に無料で配布します。

入会のお申し込み問い合わせは

こぶし作業所 宇都宮 62-1911 後援会事務局 宇都宮 3266

作業用に新車が入る

10月27日、作業用と二宮方面の仲間の送迎を行う新車が納入になり、活躍を始めました。これまでも車が20万キロ近く走り引退したため、新しい品物を福祉まつり等で全部取納されて貨物室になる純益が生み出せるのではないかと考えられます。

このバザーの収益は、後援会の預金口座に全額入られて、分場建設の貴重な財源になります。バザー物品の提供受け入れは、年間常時行っていますので、不用品などが出た場合には、ぜひ、こぶし作業所に一報をお願いします。

こぶしバザーで

純益百八十万円得る

10月14日行われた「こぶし作業所チャリティーバザー」は、多くボランティアのご協力を

協力のおかげで盛況に行われ売上百八十五万五千円、純益百八十三万九千円を得ることができました。バザーは今年で13回目ですが、毎年売上げを伸ばし、今年も今後売れ残った品物を福祉まつり等でさばく予定なので二百万円を超える純益が生み出せるのではないかと考えられます。